現代経済の諸問題レポート課題 #8

出題日 1/6(火)　提出日 1/13(火)

1. ギバード・サタースウェイトの定理の証明のケース 2 において，投票者 2 が独裁者の独裁ルールが導出されることを示しなさい。

2. 相対多数決ルールの耐戦略性について，以下の問いに答えなさい。（解答の際，①全ての投票者が強選好を有していること，②多数派選択肢が複数存在するときには，番号の若い選択肢が選択されること，の２点を仮定してもよい）
   (1) $A=\{a_1,a_2\}$のとき，相対多数決ルールが耐戦略性をみたすか否かを検討しなさい。（みたすならば証明を加え，みたさないならば反例を 1 つ挙げなさい）
   (2) $A=\{a_1,a_2,a_3\}$のとき，相対多数決ルールが耐戦略性をみたすか否かを検討しなさい。（みたすならば証明を加え，みたさないならば反例を 1 つ挙げなさい）